

## 石巻被災企業「絆」 復興支援企画商品 N e t

社団法人 石巻元気復興センター ●●●



東日本大震災で壊滅的な被害を受けた水産都市、石巻市。被害規模があまりにも大きかったために自力復興が難しい被災企業が数多くあります。そんな中、事業再建に挑む中小企業の経営者達が地域の復興へ向けて知恵を出し合おうと設立したのが「石巻元気復興センター」です。

被災当時の状況、現在の復興状況と合わせて、自慢の「復興企画商品」がカタログとWebで詳しく紹介されています。店舗を移転した企業、工場が仮復旧・一部再開した企業、念願の完全復旧を果たした企業など復興状況は様々。被災企業の設備が少しずつ復旧している中で、出荷できる商品が増えてきているとのこと。ユニークな商品も多いのでじっくり選んでみては。単品での購入も可能だが、複数の企業の商品を集めてつくった「復興支援詰め合わせセット」もあり、贈答用にも最適です。

「特選牡蠣セット」は、牡蠣の潮煮、燻製オリーブオイル漬け、牡蠣味噌、殻つき（ハーフシェル）冷凍牡蠣のセットで4200円。冷蔵品詰め合わせの「元気Aセット」は、牡蠣の潮煮、金華しめさば、石巻焼きそば、牛タン入りつくね、笹かまぼこの5点セット。バラエティに富んだ名物の組み合わせで3500円。常温品詰め合わせの「元気Eセット」は、かつおぶし

「希望」、わかめドレッシング、牡蠣味噌、塩蔵わかめの4点セット。送り先が本州の場合は送料に含まれます。注文はFAXかWEBで。事前に電話連絡をすると「石巻まちなか復興マルシェ」の店頭で商品を受け取ることもできます。

**DATA** 社団法人 石巻元気復興センター  
〒986-0854 宮城県石巻市大街道北3丁目3-54 (株)松弘堂内  
TEL 0225-96-5557 FAX 0225-93-5006  
E-mail genki@ishinomakinet.com  
WEB検索は「石巻被災企業 絆」  
＜商品提供企業＞  
栗野かまぼこ/木の屋石巻水産/三養水産/島金商店/水月堂物産/末永海産/津田海苔本舗/友福丸/街づくりまんぼう/マルキチ阿部商店/丸平かつおぶし/山形屋商店/ヤマサコウショウ/山田油業/山徳平塚水産/ヤマトミ/松弘堂

## 着古しTシャツを募集中!!



自宅で眠っている着古したTシャツはありませんか?石巻のお母さん達の手仕事で「布草履」に変身します。  
募集している物:大人のLかLLのTシャツ  
※ストーンやプリントしてあるTシャツは不可  
【送付先】宮城県石巻市小船越字川前追波川河川団地3-7 あて名:三条 照子様  
連絡先:080-1652-6286

## サバ飯(サバイバルご飯)レシピ

協力:仙台市地域活動栄養士会  
子どもの食事研究グループ



＜作り方＞  
緑の彩りをのせるとキレイです!  
【鍋で缶乾ませごはん】  
1 鍋に米と水を測り30分以上置く  
2 切干大根は水で戻さず、好みの長さに切る  
3 1に2を散らし、さんま蒲焼を重ならないように置く  
4 蓋をして強火に、沸騰したら弱火にして13~15分炊く  
5 10分蒸らした後、混ぜる

【冷製トマトスープ】  
1 乾燥わかめを容器に入れ、トマトジュースを注ぐ  
2 ホールコーン・ちぎったレタスを混ぜる  
3 乾燥わかめがもどったら塩・こしょうで味を調える(好みに牛乳を入れてもよい)

冊子紹介  
**バーラちゃんの非常食BOOK**  
～もしもの時に困らない食生活のために～  
**500円**

発行元の「仙台市地域活動栄養士会 子どもの食事研究グループ」は小さい子どもがいる家庭に向け、食に関して活動中。2012年11月に栄養士が考えた冊子を発行・販売し、講座・クッキング教室に活用している。災害・インフルエンザ等の「もしもの時」に備えた心構えを掲載するほか、非常時の献立を考えるヒントにもなる、優れものの普段の食事のレシピ30を紹介。普段の食生活を顧みる手助けにもなる内容になっている。

Special Thanks ゆうほうさん、猪股由美さん  
\*掲載されている情報は、平成26年4月現在の情報になります。\*各企業や団体によっては支援期間が違います。すでに終了している場合がありますので、ご了承ください。  
\*営利を目的とした無断転載をお断りさせていただきます。

## ままふあ会のお知らせ

●●●  
**ままふあサポーター募集中 1000円/1口**  
ままふあ会では、3.11のあの日の出来事を忘れず、子育てしながらできる東北の復興支援情報を発信し続けるため、皆様の協力が必要としています。ご登録いただくと本冊子にてお名前を紹介し、冊子発行ごとに本冊子1冊(1口)をお手元に1年間お届けいたします。皆様のご登録をお待ちしております。

【登録方法】  
以下口座に振込後、下記メールにて連絡。  
**ゆうちょ銀行**  

記号	18170	番号	38478351
口座名	ママフアカイ		

**他の金融機関から**  

店名	ハ一八(ハチイチハチ)	店番	818
種別	普通預金	口座番号	3847835

【連絡先】  
メールアドレス:mamafuasendai@yahoo.co.jp  
件名:ままふあサポーター  
本文:名前、メールアドレス、住所、冊子送付先、冊子での記載名。(希望しない場合は、その旨を明記)

●●●  
**ご登録ありがとうございます**  
2014年4月現在、下記の方にご登録いただきました。このコーナーを借りて御礼申し上げます。お預かりした資金は、本冊子制作・印刷費用として大切に使用させていただきます。  
no.3 防災士 佐藤美嶺さん

●●●  
**読者プレゼント**  
「防災拭い地震編」、「防災拭い津波編」第6弾制作にあたり、皆様からのご意見、ご感想、東北を応援する情報を教えてください。お送りいただいた方の中から、抽選にて「防災拭い地震編」、「防災拭い津波編」(有限会社クワン ころえる工房 add様提供)のいずれかを計20名様にプレゼントいたします。プレゼント送付先を記載の上、ご応募ください(2014年6月末締め切り)。  
【応募先】mamafuasendai@yahoo.co.jp  
\*抽選結果は、プレゼント発送をもってお知らせとさせていただきます。

発行:ままふあ会  
〒980-0811仙台市青葉区一番町4-1-3  
仙台市民活動サポートセンター  
レターケースNo.21  
E-mail mamafuasendai@yahoo.co.jp  
FAX 022-268-4042 [No.21 ままふあ会宛と明記]

協力  
**特定非営利活動法人**  
**せんだいファミリーサポート・ネットワーク**  
(のびすく仙台指定管理者)事務局  
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17  
日東ハイツ204 TEL・FAX:022-714-2088  
**仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台**  
「のびすく仙台」は、仙台市中心部にある幼児家庭のための子育て支援施設です。

ままふあ会は2011年12月発足。仙台在住、子育て中のママ7人が子育てしながらできる東北復興支援を提案、発信するための団体。メンバーの子ども達は、下は2歳、上は13歳の総勢13名。モットーは「ママもキッズも笑顔の復興支援!」

# わたしにもできる 復興支援

# 5

VOL.

## Interview

### 落合 早苗さん

sanae ochiai



震災の年にボランティアとして石巻に来られ、2012年6月、コミュニティサロン「ジョイナスアイトピア」を運営されている落合 早苗先生\*1に、お話を伺いました。

**Q** なぜ、“石巻”にボランティアにいらしたのですか?

**A** 自分が(校長を)勤めていた小学校も鶴見地区と海沿いだったので、もし自分の学校だったら…と、人ごとではなく、家族を説得して4月8日に山形経由で向かいました。当時、泊まる場所がなく、車中泊も許可されてない場所が多いなか、石巻にはテントサイトがあったので、こちらに来ました。あの時だからできた、ここの繋がりがだと思っています。

**Q** ボランティアとして活動されていた時の話を聞かせてください

**A** 最初はヘドロの掃除や家の片付けのお手伝いをしていました。その後、縁があって大川小学校の近くの体育館で遺留品や写真をきれいにし、持ち主のご家族にお渡しする手伝いもしました。写真や遺留品が体育館の床にそのまま置かれていて、その中から大事そうに胸に抱いている姿をみて、このままじゃいけないと思って机や椅子を校長仲間に声をかけて、都合してもらいました。また、写真の整理に、ポケットアルバムがあったらいいな、という事になって富士フィルムさんに問合せたんですけど、今国内ではあまり扱っていないんですよね。でも、韓国ならあるかも!?と、わざわざ韓国から1000冊送っていただく手配をしてくださいました。

**Q** コミュニティサロンを始めた経緯は?

**A** ボランティア中はテントサイトで暮らしていたのですが、そこでいろいろ繋がりができました。仮設に入居されていった地元の方々ともふれあううちに、皆で集まれる場が必要ではないかと感じました。いざ私ほここを離れる身なので、最終目標として‘自立’のための就労支援を掲げ、まずは居場所作り(お茶っ子しながらおしゃべりすっべ、という)サロンを開こうと思いました。

注記\*1  
落合早苗先生は、震災が起き、平成22年度で横浜市の小学校の校長を早期退職。離任式の翌日に被災地へ向かわれた。

**Q** ジョイナスの意味を教えてください

**A** 英語のjoin(参加する) joy(喜び) enjoy(楽しむ)、フランス語のjoindre(合わせる)jeunese(出来たての)などによる造語です。人との出会いを楽しみ、創る喜びを見出し、自分らしく輝くことを願って名付けました。

**Q** ワークショップ・サロンから始められたのは?

**A** まずは、サロンに参加してもらって、お茶っ子しながら作品を作り、上手にできたら、家族や友人にプレゼントする。すると、「次はこの色で作ってみよう!」などと工夫したりしてどんどん上達していくんですね。そして、商品となる作品が作れるようになっていくんです。‘石鹸デコパージュ’は横浜から講師の方に来ていただき、広がっていきましたが、石巻は伝統の町だから技術を持ってらっしゃる方が多いんですね。講師になっていただけるので、手作り芸品の種類が増えていきました。参加者の方も裁縫や折り紙など、自分の得意なことを選び、「これならできると続けられています。

**Q** ハンドベルコンサートを開かれたんですね?

**A** こちらにきて、地元の方と自分自身の楽しみとして始めました。2012年は私達だけのグループでお披露目を開いたのですが、昨年12月には地元の合唱団3組とジョイントコンサートを開催し、ご家族や友人の方など多くの方に鑑賞していただきました。好評で、先日は結婚式の余興にお呼びがかかったんですよ(笑)!

“希望の鶴”は元総理夫人の福田貴代子さんが、洞爺湖サミットで好評だったという被災地お見舞いの手紙に同封されていたものがきっかけ。心を込めた手作りの鶴は手にした人の心を明るくすると共に、「今は辛いですが、希望をもって生き抜いてください」とのメッセージのようでもありました。“いつも一緒にどうぞ”はタオル地のマスコット。1

## DATA

コミュニティサロン ジョイナス アイトピア  
住所 石巻市中央2-4-18  
電話 090-5378-7907(落合)  
開催 不定期でワークショップを開催。  
\*詳細は要問合せ。火曜は仮設住宅に出張の事も。

＜ジョイナスの主な活動内容＞  
ワークショップ・サロン活動、学習サポート活動、コミュニティ開発・促進活動、就労支援活動、コーディネート活動、傾聴活動

**Q** 今後の活動予定についてお聞かせください

**A** 月1回開いている就労会議では、ワークショップから商品化できる情報を集めて共有したり、売れる工夫を地元の人と一緒に考えたりする貴重な時間になっています。本当は家族には‘1年間だけ’という約束でボランティアに来たのですが、一年後にジョイナスの立ち上げを企画してしまって…(笑)。今、ピーナッツの殻を使ったミニチュアシューズの新作品やワカメなど海産物も販売できないか?という話も持ち上がっていて、これらを商品化できたらと思っています。

## 商品紹介



希望の鶴……………1個 200円  
幸せを呼ぶストラップ……………1個 200円  
(ビーズストラップ)  
夢叶えるぞう……………1個 500円  
いつも一緒にどうぞ……………1個 350円  
石巻のデコパージュ……………1個 200円

## MEMO

個(頭?)ずつ顔が異なり、愛嬌があるタオル“夢叶えるぞう”のミニ版です。“石巻のデコパージュ”は平成24年7月、横浜市教育文化研究所の方が大きな荷物を持ってワークショップに来石したのが始まり。大森仮設住宅で大森の母ちゃんとは赤ちゃんたちの就労となっています。